

(別紙)

## 第三者評価結果

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・①・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園のしおりに園の運営方針と法人の基本理念「豊かな福祉の実現をめざして」が示されています。また、保育目標が4つ示されています。基本理念と保育目標は事務室と各教室に掲げられています。家族に対しては、入園の時に入園しおりを配布して運営方針と基本理念の説明が行われています。職員に対しては、入職の時や新学期の時に運営方針と基本理念を確認していますが、取組みとしては十分とは言えません。今後は、基本理念や保育目標が職員に周知される取組みを期待します。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・①・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度初めの理事会では、法人内の全事業所が昨年度の事業結果を経営面と運営面に分けて報告しています。今年度の事業計画は、昨年度の事業結果をもとに作成しています。事業計画は重点目標や月の行事計画、職員研修など20項目に分けて作成しています。今後は、地域の特徴や変化を含めた分析の取組みも期待します。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組みを進めている。	②・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月、法人内の4つの保育園の園長が集まり会議を開いています。会議では月の経営状況や事業計画の進捗状況についての報告が行われています。また、法人本部では全事業所の経営会議も毎月行われています。就労・公益、高齢、保育、障害の各部門に分けて事業計画の進捗状況、予算管理報告及び重要事項報告が行われています。保育部門では、保育園の共通の課題を明確にして改善に向けた取組みが行われています。</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・④

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月の法人の経営会議や理事会で中・長期計画について、話し合いが行われていますが、具体的な中・長期計画が示されていません。今後は、ビジョンを明確にした計画が作成されることを期待します。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>具体的な中・長期計画は作成されていませんが、単年度計画は作成されています。単年度計画は20項目に分けて作成されており、強化したい業務に対しては重点目標を掲げ職員が取組めるようにしています。この項目は単年度の事業計画が中・長期計画を反映したのとなっており、<b>「c」</b>評価となります。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月、法人内の保育園の園長が集まり、月毎の経営状況や事業計画の進捗状況についての報告が行われています。評価や見直しも行われていますが、職員に周知できていないところがありますので、今後は職員への周知の仕方を工夫されることを期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度初めに保護者総会が開催され、前年度の行事報告と今年度の行事計画案が示されています。また、園内の環境整備についても説明が行われています。今後は、保護者が理解しやすい事業計画の資料を作成し、配布、説明が行われることを期待します。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では法人内で ISO9001 の品質マニュアルを整備している事業所のノウハウを参考にして、保育の質の向上に取組んでいます。法人の品質方針は①利用者の満足度向上②地域社会への貢献③法令遵守④品質マネジメントシステムの継続的改善を制定しています。法人内4園合同の職員研修や意見交換を実施し、保育士の共通理解を図る取組みをしています。法人内保育園の相互視察をすることで、他園での取組みを自身の園に取り入れたりしています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>今回初めて当園の第三者評価を実施しました。今後は、評価結果をもとに改善策の取組みが計画的に行われることを期待します。</p>		

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の職務分掌表により、園長の役割や職務内容が文書化され明確になっています。園長が保育園をリードする立場として、職員に対して自らの役割と責任を明らかにしています。今後は、有事に備えて不在時の権限委任が明確化されることを期待します。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、法人の経営会議や市の園長会議で法令を学び知識を習得しています。また、職員に対して遵守すべき法令を周知しています。今後は、環境への配慮も含む幅広い分野について遵守すべき法令の把握に努めることを期待します。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、「効率的な仕事のための業務改善策」と「法人内4園の職員研修や意見交換を実施し保育士の共通理解と質の向上を行う」の2つの重点項目を具体的に示して職員が取組めるようにしています。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人内の保育園で定期的に会議を設けて、園内での問題点を共有し改善の話し合いが行われています。通信 ICT ツールのアプリを導入して、各クラスに設置してある iPad で子どもの出欠確認や保護者へ情報の一斉配信を行っています。また、職員はアプリを活用しオンライン研修を受けることもできます。2023年9月からシルバー人材センターの保育士を朝・夕の短時間勤務で採用し、子どもの見守りを重視しています。</p>		

### II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長が保育士養成学校を訪問して、担当者に当園の特徴を説明し福祉人材の確保を図っています。</p>		

<p>す。また、職員の採用面接では、法人の部門長が同席し、法人の考え方を本人に伝え、理解が得られるようにしています。保育士補助の職員には、保育士資格が取得できるように、法人で計画的に勉強会を実施しています。法人として望ましい人物像はあるものの具体的な人材確保の計画はありませんので、今後は法人の意向を反映した計画となることを期待します。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>勤務規律が整備されており、保育士としての考え方や行動が具体例を挙げて示されています。また、職員は定期的に規律性や積極性、協調性、責任制、法人意識の自己評価を行い、その後、主任がチェックする仕組みがあります。人事考課規程では、人事考課の具体的な手順が示されています。今後は、職員が自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みが整備されることを期待します。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>就業規則は正規職員と非正規職員に分けて整備しています。また、各種法律に沿って見直しも行っていきます。給与規程は正規職員と非正規職員の区別はなく定められ、手当も明確に示されています。育児・介護休業規則が整備され各種法令に沿って見直しが行われています。また、フレックスタイム制を導入し、職員が休みを取得しやすいようにしています。職員はリーダーや主任、園長との面接を行い、職員が相談できる体制が整備されています。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員一人ひとりに目標管理シートが配布され、重要項目や達成基準、達成結果に分けて自己評価が行われています。また、年6回主任と面接を行い目標に対しての達成度や見直しが行われています。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度ごとの園内研修計画では、日程及び参加対象職員が示されています。内部研修では、全職員対象の感染症対策研修やリトミック研修が行われ、受講後に報告書を主任に提出しています。また、新規採用職員対象の研修も実施されています。外部研修では、キャリアアップ研修や主任保育士研修、防火管理者新規講習、県の子育て支援員研修、赤十字幼児安全法研修があります。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>正規職員の保育士を数名選抜してeラーニングのキャリアアップ研修に参加しています。内容は①乳児②幼児③障害児④食育・アレルギー対応⑤保健衛生・安全対策⑥保護者支援・子育て支援⑦マネジメントがあり、全7回行われています。現在は、個別的なOJTの取組みは行われていますが、計画的に行われておりませんので改善されるよう期待します。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、数名の実習生を受け入れています。園では、実習の内容は依頼する大学や専門学校が求めるもので対応しています。今後は、法人独自の実習受け入れマニュアルの整備に期待します。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページには、園の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が公開されています。また、地域へ向けては、保育園で行っている活動を載せた印刷物や広報誌を配布しています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経理規程が整備され、規程の見直しも随時、法律の改正に沿って行われています。法人のホームページでは、経営の情報提供を行っています。年1回法人内の園長が集まり管理部長による経理規程の勉強会が行われています。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域との関係については、市が発行している「保育所一覧のパンフレット」に園庭開放を明示しています。法人主催のチャリティバザーでは、園の子どもたちが地域の人にダンスを披露しています。しかし、園の行事に地域住民を招いたり、地域行事に子どもが参加することは少なく、園庭開放の利用もほとんどない状況です。今後は、園庭開放の利用を積極的に地域へ呼びかけるとともに、地域との交流が行えるような取組みを期待します。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症予防により、ボランティアの受け入れは見合わせています。現在は、地域の中学生の職場体験の受け入れや高校生の授業「発達と保育」の一環として、園児と遊びを通しての交流活動が行われています。受け入れにあたっては、中学校の内容や高等学校の内容に沿った手順で、オリエンテーションを行っていますが、ボランティアに関する文書は明文化されておらず、対応マニュアルなどありません。今後は、ボランティアの受け入れに対する基本姿勢の明文化や対応マニュアルの整備を期待します。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、保育に関して必要な関係機関や団体の名称、連絡先を一覧表にして、職員に周知するとともに事務所に掲示しています。また、園長は法人の経営会議や市の園長会議に参加し、必要な社会資源についての情報交換や意見を交わしています。最寄りの交番には、園の連絡先を伝え、連携がとれるように体制を整えています。今後は、より必要な社会資源の把握に努めながら、関係機関との関わりや連携を高めていくことを期待します。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、県事業のいちごハートネット事業に参加し、地域の子育てについての悩みや相談を受けける体制があります。また、園長は市の園長会議に参加し、地域福祉のニーズの把握に努めています。今後は、園庭開放や地域交流の行事を通じて、地域の福祉ニーズを把握できるようになることを期待します。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人では、地域の子どもやファミリー向けのレジャー施設やレストランを運営し、公益的な事業を行っています。今後は、園での地域交流を充実させ、地域ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われることを期待します。</p>		

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「個性豊かな子どもに育てよう」という目標のもと、園長は毎月の職員会議で子どもの人権や不適切な保育についての説明をしています。保育マニュアルの中に、子どもの人権に関する内容を明記し、職員の周知に努めています。職員には、外部研修や園の内部研修を通して、子どもの尊重や人権に関しての理解を深めています。また、「人権擁護のためのセルフチェックシート」を職員が行い、日々の保育の振り返りと気づきを持てるように取り組んでいます。今後は、一人ひとりの子どもの考え方や生活習慣の違いを把握し、保育内容や指導計画に反映されることを期待します。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・⑩・c

	る。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育マニュアルには、プライバシー保護に関する内容が記載され、職員はマニュアルに沿って子どもたちのプライバシーを保護しています。プール遊びでは、外部から見えないように壁を設置し、各部屋で着替えを行ってから遊ぶようにしています。しかし、職員へのプライバシー保護についての周知は十分とは言えませんので、今後はプライバシー保護の研修の取組みを期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園する子どもの保護者には、入園説明会で「園のしおり」を配布し、園の活動や方針についての説明を行っています。園の見学会では、建物内の雰囲気分かる写真を記載したパンフレットを保護者へ配布し、各クラスや園庭を見てもらっています。在園児の保護者には、進級時にクラス会を行い、年齢に応じた保育内容を説明しています。また、市の子ども課にパンフレットを設置し、より多くの人へ情報提供ができるように取組んでいます。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園時には説明会を開き、「入園のしおり」を配布し、保護者へ丁寧な説明を行っています。外国人の保護者には、職員が分かりやすい言葉で伝えています。必要な時には個別対応をして、保護者に寄り添った対応をしています。年度途中で、保育内容の変更がある場合は、アプリを利用して保護者に伝えています。今後は、入園のしおりにルビを付けるなど、誰もが理解しやすいような情報提供を行うことを期待します。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育園の変更にあたっては、市へ関係書類を提出し報告を行っています。保護者からの要望がある場合は、必要な情報提供を行っています。また、転園後も保護者からの電話相談を受け付けています。今後は、卒園や転園後の相談窓口や連絡先を保護者に伝え、より相談しやすい体制が整備されることを期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は、送迎時の保護者に子どもの様子を伝えながら、意見や要望を聞いています。保育参観では、普段の保育の様子を実際に見てもらったり、子どもと保護者が一緒に関わる活動があります。保護者の希望制で「1日保育士体験」を実施しています。保育士体験実施後は、保護者にアンケートを行い、感想や意見の把握に努めています。アンケート内容は園長や主任保育士が確認し、変更が必要な場合は、職員会議を経て改善しています。利用者満足に関する取組みは、保</p>		

育士体験以外での保護者全員アンケートなどの取組みも行われることを期待します。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・⑥・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決窓口については、「園のしおり」に相談窓口や第三者委員の情報が明示されており、ホームページにも苦情解決対応の詳細が掲載されています。苦情解決対応の流れは、フローチャートで示されています。また、苦情記録用紙に内容を記載し、職員と共有して原因や対策を検討しています。保護者には、入園説明会や保護者会で苦情に関する相談窓口の内容を伝えていますが、園以外の第三者委員への相談窓口の周知が不十分です。今後は、保護者に第三者委員の周知の仕方を工夫されることを期待します。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・⑥・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、日頃から保護者とのコミュニケーションを取り、保護者が相談しやすい雰囲気作りに努めています。相談する場所についても相談室が用意されています。また、アプリを活用し、個別相談も可能です。意見箱は事務所に設置し、要望や意見が表せるように努めています。現在のところ投書はありません。今後は、意見箱の設置場所を変えるなど、より保護者が意見を述べやすい環境の整備に期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・⑥・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者からの相談や意見は、各クラスで把握し、園長や主任保育士へ報告、相談を行っています。受けた相談や意見については、職員会議で共有しています。今後は、保護者からの意見に対して、職員会議以外でも共有し、迅速に対応ができる仕組み作りを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・⑥・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園には、「事故怪我発生マニュアル」や「不審者対応マニュアル」、「プールマニュアル」が整備されています。また、保育マニュアルには、怪我や誤食の対応、内服薬の取り扱いの対応方法が記載されています。職員会議では、収集されたヒヤリハットをもとに、園の安全マップが作成され、見直しも行われています。月に1回、職員が遊具や備品類の安全点検を行い、安全点検確認リストにまとめられています。今後は、リスクマネジメントに関する責任者などを明確にした体制作りを期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	⑥・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園の感染症マニュアルが策定されており、定期的な見直しも行われています。各クラスに感染症マニュアルを設置し、職員が迅速に対応できるようにしています。看護師による手洗い指導や嘔吐物処理の研修を職員に対して行っています。また、保護者には、保健だよりを年4回発行し、</p>		



感染症予防への周知と理解を図っています。園で感染症が発生した際には、個人が特定できないようにアプリを活用して保護者へ連絡し周知しています。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>火災や地震などの緊急時対応マニュアルを整備し、毎月、火災や地震、不審者対応の避難訓練を行っています。各クラスで子どもを安全に避難させる方法を話し合い、訓練を実施後に内容や改善点を避難訓練記録簿に記載し、次回の訓練に活かしています。また、災害備蓄品一覧表を作成し、飲料水や食品を備えています。子ども一人ひとりのロッカーには、防災頭巾が常備され、火災や地震の避難訓練時に着用しています。今後は、地域と連携して災害訓練が行えることを期待します。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全職員が標準的な保育を実践できるように、保育マニュアルが整備されており、年齢に応じた保育上の留意点や配慮事項が記載されています。保育マニュアルに関する内部研修が年度末に4日間実施されており、全職員が参加しています。また、入職した際には、新人職員研修マニュアルを用いて説明が行われています。今後は、職員がさらに保育マニュアルを理解してもらえ取組みに期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育マニュアルの見直しは、園長や主任保育士が行っています。年度末には、全職員対象に保育マニュアルの研修を行っています。今後は、実施方法の検証・見直しについて、職員や保護者からの提案や意見を募り、より組織的に見直しができる取組みを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもや保護者のニーズは、保育活動時の様子や送迎時の保護者との会話の中から把握しています。3才児未満には、月案の他に個別計画書が作成され、3才児以上の計画は、集団の指導計画が作成されています。計画書は、年間指導計画に基づいて各クラスで計画を立て、園長や主任保育士が内容を確認して作成されています。今後は、より子どもや保護者のニーズを把握するために、アセスメントの手法や様式を整備して指導計画へ反映できるように期待します。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>月案は各クラスで検討し、毎月のクラス会議で評価・見直しを行っています。クラス会議は月</p>		

<p>2回開き、うち1回は主任保育士が参加して状況を把握しています。改善点や未達成な部分は、翌月の計画に盛り込んでいます。年間指導計画は、年度末に1年間の振り返りを園で行い、全職員で改善点を話し合っています。楠今後は、指導計画が変更になる際、職員への周知が十分に図れるような取組みに期待します。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、子どもの様子や発達状況を日々の日誌に記録しています。各クラスの記録は、園長や主任保育士が確認しています。職員によって児童票の書き方に、差異が生じないように記録方法のマニュアルが整備されています。また、アプリを活用し、各クラスの保育活動を確認することもできます。保育の実践状況についてはクラス会議や職員会議で報告されていますが、アプリを活用し、記録の効率化や保育内容の共有化が図れるように期待します。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもや保護者の個人情報は、ファイルにまとめ、事務所の鍵のかかる書庫で管理しています。保護者には、個人情報取り扱いの説明を行い、同意を得ています。SNSなどソーシャルメディアの取り扱いは、保育マニュアルにも示し、職員へ周知しています。園長は、職員会議の中で個人情報の取り扱いについての説明を行い漏洩防止に努めていますが、個人情報取り扱いに関する研修はありません。今後は、個人情報に関する研修を計画するなど管理体制強化の取組みを期待します。</p>		

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
<p>A-1-(1) 全体的な計画の作成</p>		
A①	<p>A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の基本理念や保育目標は、各保育室や事務室、職員休憩室に掲示されています。月に2回クラス会議を行い、職員はよりよい保育が展開できるように意見を出しています。会議で出た改善点については月案作成に反映させています。全体の計画には、子どもの姿を予想し養護教育のねらいを立てています。</p>		
<p>A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開</p>		
A②	<p>A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>0・1・2歳児のクラスでは、昼寝の時間にオルゴールの音楽をかけて、気持ちよく入眠できる環境整備をしています。加湿器や空気清浄機も各保育室に設置されています。天窓も毎日開けて、換気には注意しています。エアコンの室外機の音が気になったため、室外機に囲いを設置して音</p>		

<p>が漏れないように改善しています。毎月、園庭にある遊具の点検や室内の安全点検を実施しています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>お昼寝をしない子やアレルギーを持っている子、トイレトレーニングの子など、その時の子どもの状態に応じた保育を行っています。児童票の記載については、担当する保育士のみが記載し、状況を把握しているとのことなので、今後はクラス担当しているすべての保育士が児童票を確認し、子どもの状態に応じた保育実践が行えることを期待します。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>朝の活動時に手作りの紙人形劇を用いて、基本的な生活習慣を習得する取り組みを行っています。子どもは紙芝居や絵本を見て、手洗いやトイレの使い方をクラスごとに学んでいます。園内には、生活習慣を身につけるポスターを掲示しています。今年度は、子どもに看護師による手洗い指導も実施しています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>雨の日でも室内活動が充実できるように園舎内にオープンスペースがあり、身体を使ってダイナミックに遊べる環境が整備されています。自由遊びの時間には音楽をかけて、楽しい雰囲気作りを心掛けています。地域の人たちに接する機会や社会体験が得られる機会が少ないのが、今後の課題です。子どもが自然と触れ合うことができるように、草花や木を植え季節を感じられる環境整備がより充実することを期待します。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間指導計画をもとに、全体的な月案と子ども一人ひとりの月案を作成し、発達過程に応じた保育を行っています。スキンシップを大切にし、喃語にも応えるようにしています。わがままを言っても最初はとにかく受け入れることを重視した保育を行っています。0・1歳児は連絡ノートを使用し、家庭との連絡が密になるように対応をしています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自分でできることは、自分でできるようになる保育を行っています。1歳児クラスはお昼を食べる際、食事をする部屋に移動します。1・2歳児クラスは、お昼寝の部屋と活動の部屋を別にして、メリハリある生活が送れるようにしています。2歳児クラスは、毎日階段を使用しており、「危ないこと」も保育の中で学べる機会を提供しています。</p>		

A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳児は「集団で」ということを意識した保育を行っています。具体的には、室内ではフルーツバスケット、戸外ではドッジボールや鬼ごっこなどルールのある遊びを多く行っています。給食時には、ご飯の配膳や「いただきます。ごちそうさまでした。」の声掛けを行う当番活動も取り入れています。3歳児クラスは4人で1つの机を使用しますが、4・5歳児は個別の机を準備し、自らの身の周りの整理整頓を行える環境を整備しています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員間で子どもの特徴を共有しながら保育を行っています。活動の中で、部屋から出て行ってしまう子どもには、できるだけ子どもに寄り添えるように職員体制を整備しています。しかし、建物・設備などが障害のある子に応じた環境整備が不十分であるため、今後は子どもが落ち着いて過ごせる安全な環境が整備されることを期待します。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>延長保育の時間帯では、0歳から5歳までの子どもが一緒に過ごしています。子どもが一日の疲れを感じてくる夕方は、ゆったりと過ごせるような室内での活動を取り入れています。16時までの活動と、それ以降の活動に連続性が十分でないこともあるとのことなので、今後は在園時間を考慮した活動がさらに充実することを期待します。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士と小学校教員との意見交換会を2月に実施しています。就学してからスムーズに学校での生活が送れるよう、年長児は10月からお昼寝の時間が活動の時間に変わります。必要に応じて、保護者との面談の機会も設けています。今後は、就学する小学校の様子を保護者に個別に伝える取組みがより充実することを期待します。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保健だよりは、年4回発行しています。その際、季節に応じた感染症や予防策など、保健に関する情報提供を保護者に向けて発信しています。身体測定は毎月実施し、子どもの体重の急激な増加や気になる症状がある場合には、職員が口頭で保護者に伝えています。インフルエンザの予防接種も嘱託医の協力のもと、保護者の同意を得て園で実施しています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

健康診断および歯科健診を年に2回ずつ実施しています。結果については、職員が保護者に口頭で伝えています。職員間では結果を一覧表にしたものを回覧し、子どもの情報を把握しています。		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、 医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、個人毎にアレルギー疾患ファイルを作成しています。献立確認票を用いて毎月の献立を保護者が確認し、その後担任者、栄養士、主任保育士、園長が確認するという体制が整備されています。給食やおやつの中には、机を分けたり記名した布巾を使用して、誤食予防に努めています。また、職員も子どもの傍に座る配慮をしています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食育活動として、プランターで季節の野菜作りを行い、食に関心を持てる取組みをしています。サツマイモの収穫後は、給食室で調理し、秋の味覚を味わいます。子どもが自分でおにぎりを握って食べる給食の日もあります。子どもの咀嚼具合に合わせた食事援助が不十分であるため、今後は子どもの発達に合わせた援助が行われることを期待します。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を 提供している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>十五夜や十三夜には、豆腐団子を提供しています。豆腐団子は、調理員と職員とで何度も試作を重ねて完成させました。令和4年度は「郷土料理」、令和5年度は「世界の料理」というテーマを決めて、毎月様々な料理を提供しています。子どもの食事がミルクから離乳食に移行する際には、保護者に来園してもらい離乳食の形状を確認した後で、食事の提供を行っています。</p>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の家庭との連絡は、アプリを使用して情報交換しています。保育園からの一方的な配信ではなく、家庭からも連絡事項を入力することができます。保育園からは週に1回、写真付きで保育活動の様子を配信しています。また、送迎時にも保護者と情報交換しています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>今年度から保護者に向けた「1日保育士体験」を実施し、保育園での子どもの生活の様子を知る</p>		

<p>ことができます。保護者からは、園に対し良い印象をもってもらえたり、保育士と保護者の会話も広がったりと好評です。</p>		
A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・㊸・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、身体測定や着替え、おむつ替えの際は全身状態の確認をしています。また、日常生活の中で些細な変化を見逃さないように気を付けています。虐待対応・発生マニュアルを作成し、マニュアルは入職時に各職員に配布しています。マニュアルの見直しを行った際には、都度新しいものを配布しています。今後は、虐待や権利侵害に関する理解を深める研修の取組みが行われることを期待します。</p>		

### A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>オンラインでの保育研修やeラーニング型のキャリアアップ研修を活用し、保育士の専門性の向上に努めています。法人内の4つの保育園は、相互に園での活動を視察する取組みを行っています。視察することで、互いの園の良いところ、改善が必要なところがわかり充実した研修となっています。</p>		